令和6年度第3回宇部警察署協議会会議録

開催日時	令和7年2月14日（金） 午後3時30分から午後5時までの間	
開催場所	宇部市常藤町3番1号 宇部警察署講堂	
出席者	公安委員会	今村公安委員長
	警察署協議会	末田委員、渡邊委員、佐々木(勝)委員、佐々木(由)委員、 吉武委員、樋口委員、安光委員、河村委員、村岡委員、 平西委員、武田委員 計11人
	警察署	署長、副署長、地域官、刑事官、交通官兼交通総務課長、主幹、 生活安全官、警務課長、警察安全相談課長、会計課長、 生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通捜査課長、 警備課長 計15人
議題	1 業務推進状況 2 デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進	
<p>1 会長挨拶 宇部警察署協議会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。 令和6年度を振り返ると、訓練視察や署員との意見交換会等の行事を数多く企画していただき、非常に充実した活動ができたことに感謝している。そして昨年は、宇部警察署管内で統計開始以降初の交通死亡事故0を達成した年であり、ひとえに署員の皆様による平素からの努力の賜物だと深く敬意を表する。 本日の諮問事項について、デジタル化の波は我々の生活の中まで押し寄せてきており、避けては通れない重要な課題となっていることから、委員一同説明を傾聴し、積極的な提言を行いたいと思っている。また、本日は今村公安委員長にご出席いただいております、より充実した協議会にしたいと考えているので、皆様どうぞよろしく願います。</p> <p>2 公安委員長挨拶 宇部警察署は協議会委員の人数が多く、また年齢層も幅広いことから、様々なご意見を伺えると思ひ、今日の日を心待ちにしていた。 警察署協議会制度は平成13年に始まり、その地域の現状を最も理解している市民代表の皆様から、警察に対するご意見やご提案等を伺うことのできる大変貴重な場である。その一方で、警察側にとっても、市民の皆様に警察業務への理解をより一層深めていただく良い機会となる。本日の会議においても、宇部警察署の説明を聞いて警察への理解を深めていただき、有意義な時間になることを期待している。</p>		

3 署長挨拶

省略

4 業務推進状況(令和6年中)

- (1) 効果的な犯罪抑止対策の推進
- (2) 少年の非行防止対策の推進
- (3) 重要犯罪等の検挙対策の推進
- (4) 交通死亡事故抑止総合対策の推進

5 諮問事項説明(交通官)

デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進

6 諮問事項協議

(委員)

マイナ免許証を選択した場合、免許証の記載内容はアプリで確認するとの説明であったが、どの程度手間がかかるものなのか。また、これまでは免許資格の証明として運転免許証の写しを求められるケースがあったが、「マイナ免許証のみ」を選択した場合はどうなるのか。

(交通官)

アプリを使った確認方法がどの程度の手間になるのか現時点では不明であるが、第三者への証明については、マイナンバーカードの提示やアプリで読み取った免許証情報の表示になると考えている。

(委員)

証明方法については、アプリ画面をプリントアウトして証明書として利用できる仕組みがあれば解決すると思うが、そのような方法は検討されているのか。

(交通官)

アプリで読み取った免許証情報を表示すること以外は把握していない。

(委員)

自動申請受付機の画面で「経歴証明書の発行」という項目があるが、これは証明書にならないのか。

(交通官)

経歴証明書とは、運転免許証を返納した方や運転免許証失効後5年以内の方などがその経歴を証明するものとして申請するものであり、現在の運転資格を証明する効力はない。

(委員)

これまでは自動車購入時や車両保険加入時などに、販売店から運転免許証の写しを求められていたが、マイナ免許証の導入に当たり、今後は警察と販売店等で情報共有してもらえないか。

(交通官)

現在のところ、そのような話は聞いていない。

(委員)

健康保険証はマイナンバーカードに吸収される形で統合が進められているが、運転免許証は所持形態を選択できる余地が残されている。運転免許証を証明書として利用する場合に現物が必要となるため、自分で選択できるようにしたとも考

えられるのではないか。

(交通官)

紛失時のリスク軽減などの理由により、申請者自身が自由に選択できる形になっているのだとは考えられる。

(委員)

私は来月運転免許の更新時期を迎えるが、個人的にレンタカーを借りる機会が多く、運転免許証の写しが今後どのような提示方法に変わるのか分からなければ、マイナ免許証への更新は不安に思う。今はまだ過渡期で、先行き不透明な部分が多いことは理解しているが、マイナ免許証を普及させるには、より一層の周知広報を行い、市民の不安を払拭する必要がある。

(委員)

マイナ免許証に切り替えることで、住所変更の際は自治体への届出だけで免許情報も書き換えられるとのことであるが、警察と自治体がマイナンバーカード内の個人情報と共有できるということか。

(交通官)

自治体側は免許情報の住所変更に関する部分にアクセス可能だと思われるが、詳細は把握していない。なお、警察側が確認できるのは免許情報だけである。

(委員)

ここ数年のデジタル化により、会員証等の多くがスマホアプリで利用できるようになっており、いずれは運転免許証もスマートフォンで管理できるようになってほしいと思っている。

支払いもキャッシュレス化が進んでいるが、警察署で県証紙や手数料の支払いにキャッシュレス化を導入する予定はあるのか。

(交通官)

将来的にキャッシュレス化を導入する予定があると聞いている。

(委員)

「マイナ免許証のみ」を選択しない限り、従来に比べて手数料が値上げされている。新しい機器や制度の導入によりコストが上がったのか、それとも多くの人にマイナ免許証に変えてほしいという意図があるのか。利用者の手続きが簡素化されるメリットは理解できるが、数年に一度のことでもあり、今回の値上げに納得できない市民もいるのではないか。

(交通官)

所持形態による手数料の違いは、免許証自体の発行費用や手続きにかかる人件費などの差が一因として考えられるが、具体的な理由は把握していない。委員が発言されたとおり、マイナ免許証を推進したい意図はあると思われる。

(委員)

私は職業柄、認知症や判断能力が低下した高齢者と関わる機会が多く、マイナンバーカードの存在自体を忘失している方が多い。そのような方が内容を理解できないまま、更新手数料だけで判断して「マイナ免許証のみ」の更新方法を選択すると、「運転免許証を紛失した」などの申告や、免許証不携帯での運転が頻繁に起こり得ると予想できる。本人やその家族のため、マイナ免許証に一目で識別できる「免許証一体型」などの表記があれば、より分かりやすくなると思う。

(交通官)

ご意見を参考とさせていただきます。

(委員)

マイナ免許証のうち、マイナンバーカードの更新期限が切れている状態でも、運転免許証の更新期限が残っていれば運転免許証としては有効なのか。

(交通官)

運転免許証として有効である。

なお、マイナンバーカードの更新期限が切れた状態では、マイナ免許証に切り替えることはできない。

(委員)

警察官が職務質問した際、対象者がマイナ免許証だった場合はどのように対応するのか。また、新システム導入後の現場対応に関して不安はないか。

(交通官)

現場の警察官は、専用の機器で免許証情報を確認することができる。新システムの導入によって不測の事態が発生することに不安はあるが、導入後も随時問題点を検証しながら改善に努めたい。

(委員)

私が勤務する山間部の温泉施設でも、行政等の指導により急速にデジタル化を進めている。新たなシステムの導入直後は慣れない機器に戸惑い、従業員の業務負担が増えたように感じるが、慣れてしまえば導入前と比べて業務効率の改善につながったと実感している。先ほどの説明では、職員の負担が増えることを課題として挙げていたが、おそらく一時的なものだと考えられる。

(委員)

私は先月、総合交通センターで免許更新の手続を行った。自動受付機が導入されて間もない頃だと思うが、受付機の前は長蛇の列であった。それでも導入前に比べて利用者の待ち時間は短縮されているのか。

(交通官)

総合交通センターの状況について詳細を把握していないが、当署では少なからず利用者の待ち時間が短縮されている。

(委員)

私は後期高齢者であり、あと何年車を運転できるか分からない。このような状態で来月運転免許証の更新時期を迎えるが、現段階でマイナ免許証にしようとは思わない。デジタル化という複雑なイメージが先行し、高齢者にとっては手を出しづらい制度だと感じる。

(署長)

皆様から伺ったご意見を十分に検討させていただき、本制度導入に関するメリット・デメリットを分かりやすく市民の方々に理解していただけるよう、広報啓発を推進したいと考えている。本日回答できなかったご質問については、警察本部等に確認するなど、マイナ免許証の導入に備えていきたい。本日は大変貴重なご意見を多数いただき、感謝する。

7 公安委員長講評

皆様の貴重なご意見を拝聴し、非常に重く受け止めさせていただいた。

マイナ免許証に関しては公安委員会でも説明を受けているが、本日出たような緻密な質問にまで考えが及ばなかったことを反省している。特に、県民に対する周知が不足していると感じた。県警には、今後、ホームページにQ&Aを作るな

ど県民が気軽に疑問点を解決できるよう工夫を凝らし、さらには質問を受け付ける相談窓口の拡充を図るなど、とにかく県民の不安を払拭できる環境づくりをお願いしたい。

次に、令和7年に県警が取り組むべき大きな課題の一つとして、飲酒運転の取締りが挙げられる。本日お集まりの皆様方には、コロナ禍に比べて飲酒運転が増加している現状を認識していただき、ぜひ周知啓発のご協力をお願いしたい。

また、業務説明にあった自転車盗の増加については、実は全国的にも増加傾向にあり、鍵を掛けない習慣が大きな要因となっている。県警には、自転車ヘルメットの着用促進に併せ、より一層の広報啓発を推進していただきたい。

最後に、防犯カメラの設置について述べさせていただく。街頭防犯カメラを設置するには、個人情報を始め様々な問題をクリアする必要がある一方、街頭防犯カメラを契機とする検挙も増えており、県警ではその有用性と更なる必要性を実感している。県民の皆様からもご意見を賜りつつ、街頭防犯カメラの設置促進に向けて検討していきたいと考えている。

本日は貴重なご意見を賜り、またその場に同席させていただき感謝する。

8 配付資料

- (1) 業務説明資料
- (2) 諮問事項資料

9 その他

- (1) 監察関係事案説明
令和6年度における警察職員の懲戒処分事案について説明した。
- (2) 次回日程
次回会議の日程については、後日調整することとした。